

株式会社T&Dホールディングス

<https://www.td-holdings.co.jp/csr/>

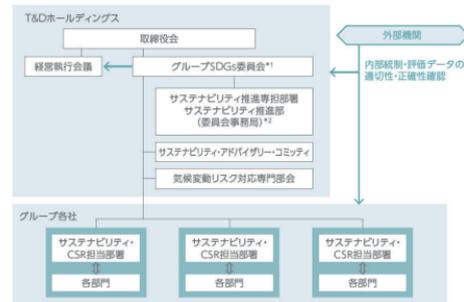


《将来に向けた取組方針》

T&D保険グループは環境への取組姿勢を明確に示すため「T&D保険グループ環境方針」を制定しています。企業活動に際して、環境問題の重要性を十分認識し、地球環境の保護に配慮して行動することを役員へ周知徹底し、社会とともに持続的成長を遂げ、生命保険業等の公共的使命と企業の社会的責任を果たします。グループのサステナビリティ重点テーマに「気候変動の緩和と適応への貢献」や「投資を通じた持続可能な社会への貢献」を定めてグループ全体で取り組みを進めています。

ガバナンス体制

取締役会は、代表取締役社長が委員長を務め、SDGsなど地球環境や社会的課題に関する基本方針や施策を審議検討することを任務とする、グループSDGs委員会を取締役会の下部機関として設置しています。また、外部有識者の参加するサステナビリティ・アドバイザリー・コミッティにより外部有識者の視点や最新動向の取込み等、グループのサステナビリティ対応の向上を図っています。



環境負荷低減の取組み

当社グループは、グループ各社が協力し、グループの環境保護関連の目標を設定して毎日の事業活動の中でその達成に向けた取組みを進めています。

目標は、「CO₂排出量の削減」「電力使用量の削減」「事務用紙使用量の削減」「グリーン購入比率の向上」の4つです。

投融资を通じた取組み

運用資産の投融资判断の際に、投融资先企業の財務情報に加え、生物多様性を含むESG等の非財務情報に関する分析・評価を取り入れ、持続可能な社会の実現に向けた使命を果たすよう努めています。また、公園緑地の創出などの生物資源の保全に活用されるグリーンボンド等にも投資を行っています。

森林保全活動

グループ傘下の太陽生命では、国内2カ所に「太陽生命の森林(もり)」を設置し、森林保全活動を進めています。2007年に滋賀県高島市に設置した「太陽生命くつきの森林(もり)」では、むかし里山林であった森林フィールドとして、社員によるアカマツやコナラなどの保全活動やピオトープ整備など、生物多様性保全の観点からも有効な活動を展開しており、2023年に30by30「自然共生サイト」に認定されました。

